

ましたが、森会員が工事を担当され、感謝状と記念品を受けられました。

2 飯田(貢)会員のベンケイ綿KKでは、このたび同社の綿が日本工業規格に合格されました。全国で25社のみで、本道では指定第二号です。

※ スピーチ セントバナード犬雑話、

宮崎英一君

私のところに「セントバナード」犬がおります。これは大型犬で、セバード、秋田犬も大型です。中型犬にはアイヌ犬、ブルドック、ポインター等があり、小型犬として狆、ボラメニアン、ホイベット、スコッチテリア等があります。「セントバナード」犬は性格は大変温順です。体重は約100Kg、身長は約170cmで、顔は我々の倍位あります。

イタリーとスイスの国境にセントバナード峠がありますが、この峠は冬は積雪と吹雪のため多数の遭難者を出していました。その対策として峠にあるセントバナード寺院の僧侶達が飼育したのが「セントバナード」犬です。冬になるとこの犬達は先天的な鋭い嗅覚力と、抜群な体力で救助に活躍しました。19世紀の初めにこの寺院にいた「オールドバリー」と呼ぶ犬が、39名を救助し、40人目の救助に向い途中で狼と間違つて射殺されたことがあります。現在スイスの博物館にその功績をたたえて剝製として保存されています。

将来函館付近でも冬山遭難が予想されますが、私もこの犬を訓練してお役にたてたいと思つています。現在北海道にはこの種の犬が3頭、日本全国で37~38頭で、ジャイアンツの長嶋選手も持主の一人です。

○ 質問に答えて — 一般に犬の食餌には塩分が禁物です。又ジステンパーに注意すること。(有効な予防注射あり)人命救助の訓練には人間の臭いをもつた物をかくして探させることから始めます。私の犬の値段はスイスから4ヶ月の幼犬で買った時は35万円でした。

※ 出席報告

1. 本日 会員数29名 出席20名
2. 先週の確定出席率 75.86% 会員数29名 当日出席22名
メークアップなし

3. 他クラブの状況 函館85.45% 函館東95.65%

○ 遠藤会長のメモより — 東京での電話による天気予報の問合わせは1日約7万5千回ですが、これが台風時になると60~70万回になるそうです。

○ 御注意 — 9月23日(木曜)は祭日で、函館、札幌東、室蘭等の例会は休みとなりメークアップが出来ません。出張される方は特に御注意下さい。

※ 次回(9月22日)のプログラム 映画



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第71号

1965~66-9-15

函館北ロータリークラブ

第64回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

本日のプログラム

映画

※ 司会 遠藤会長

※ 斉唱 "手に手つないで"

※ ビジター 北村治作君(自動車ボディ製造新潟東)
浜辺利蔵君(漁業—大洋紋別)
池見厚君他9名(函館)
大賀親乙君他6名(函館東)

※ 会長挨拶

1. 台風24、25号が本道を襲わんとしております。先日の台風で被害を受けたお方もこの会場におられますが、くれぐれも御用心下さいませよう。
2. 本日卓話を予定していた時田会員が都合悪く欠席されましたので、代つて「老人の日」にちなみ会員中最も若い?新さんに卓話をお願いします。

※ お知らせ (御注意)

函館R.C.の9月23日の例会は祭日につき休みとなります。

※ スピーチ "小樽を訪れて"

— ユーモアが素晴らしい効果を発揮したお話 — 新善次君

今日は「老人の日」であるから時田会員の卓話の受理せよとのことですが、私を年寄り扱いしたのはいささか不満でした。むしろ若いからお前を酷使するのだといつてほしかつた。

ところで8日の例会に欠席したのは、小樽の板谷商船のガソリンスタンド開所式に招かれたからでした。久し振りに小樽の街を眺めて、同じ境遇にある函館と比べていろいろ考えさせられました。板谷商船は約70年前アメリカスタンダード石油会社の代理店になっていました。然し戦後はガソリンスタンドは経営せず、今回始めて長橋町で開所したのです。式が済み、北海ホテルでパーティをやり、その席で板谷宮吉氏(三代目)に、如何にも年寄りらしい昔話を



通算第 7 2 号

9 6 5 ~ 6 6 - 9 - 2 2

函館北ロータリークラブ

第 6 5 回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

しましたので、それを復習御披露したいと思います。

従来日本の石油会社は乱立気味で、経営は困難でした。放置すれば共倒れとなり、米英資本に持つてゆかれたらうと思います。そこで通産省では法令によつて生産整理、販売規制をやり、石油販売業が漸く軌道にのつてきました。今回板谷商船がガソリンスタンドをスタートさせたことは誠にタイミングが良く、傑作である。さように申し上げました。

それから昔話になり、二代目板谷氏の大番頭であつた柴野さんが登場しました。時は関東大震災の少しあと、東京は恐らく復興しないだらうと思われていました。円為替も下落しました。アメリカを相手に日本の石油会社は太刀打ち出来ないだらうと思ひました。然し昭和の始めには見事に立ち直りました。これは実は裏話しがあるのです。当時の石油販売法は、会社がストックしておいて委託販売をしていました。それを報告せずのためにためておいて、値下げ発表を待つて報告しました。これが黙認されていたので商売が成り立っていたのです。然し度が過ぎると容認されず、折衝がめんどうになります。時あたかもサンガー夫人が来日し、産児制限を力説中でした。そこで柴野氏は、スタンダード石油の総支配人ゴールド氏に電報で抗議しました。曰く「サンガー夫人と雖も産まれた小供は育てる義務がある。」……これを読んでゴールド氏は腹を抱えて笑い、電報を額に入れて飾つておいたそうです。かくして板谷商船は相当の出荷を受け、我々にもその恩恵が及んだ、と言ひ次第です。

この電報のやりとりは誠に傑作で、ユーモアが素晴らしい好果を発揮しました。これを板谷氏に申し上げたところ大変喜ばれました。

○ アメリカの石油販売法 俣野 純夫 君

アメリカではドライバーは必ずチケットを持つていなければならず、又チケットはどのスタンドでも有効です。この方法なら悪いことは出来ないし、事故も少いだらうと感心しました。

○ 遠藤会長のメモより

動物の寿命について、「ゾウガメ」の200年から「カゲロウ成虫」の数時間まで、多くの例について興味あるお話がありました。

※ 出席報告

1. 本日 会員数 29 名 出席 15 名
2. 先週の確定出席率 75.86%
会員数 29 名 当日出席 20 名 他ク出席 2 名 計 22 名
3. 他クラブの状況
函館 88.15% 函館東 85.51%

本日のプログラム

会員卓話 クナシリ(国後)島の思い出

山形 清君

- ※ 司 会 遠藤 会長
- ※ 斉 唱 奉仕の理想
- ※ ゲスト MR. W. GORDON PARKER (NEWZEALAND)
- ※ ビジター 小畑信愛君他9名(函館)
小南武一君他8名(函館東)
- ※ 会長挨拶 (ゲスト紹介)

本日はニュージーランドから珍しいお客様、パーカーさんをお迎えしました。パーカーさんは1962年にROTAのリーダーとして、ニュージーランドの6名の青年を連れて函館に来られ、更に北海道から九州まで、各地のロータリー・クラブを訪問し、多大の効果を収めて帰国しました。翌年日本から6名の青年がニュージーランドに行き、大変お世話になりました。

ROTAとは、ROTARY OVER SEAS TRAVEL AWARD の略で、その根本理念は「良き市民であること」であり、それによりお互いの友情を深め、国際理解に寄与しようというのです。ニュージーランドでは1955年からROTAを始め、既に北アメリカ、カナダ、印度、パキスタン等を訪問しています。パーカーさんはこの前に再び日本を訪れることを約束されましたが、今回その約束が実現して快適な旅行を続けておられるのです。

※ W, ゴードン・パーカー氏の御挨拶

(通訳 - 伊部バスト・ガバナー)

本日は遠藤会長さん、バスト・ガバナーの伊部さんと共に、この会に出席出来て非常に愉快です。3年前に函館に来て、皆様に大変親切にいただきました。その時このすばらしい北海道を再び訪れることを約束し、出来るだけ早く実現したいと願つていましたが、今回家内同伴でやつて来ることが出来ました。来てみると5人のバスト・ガバナーが準備して下さり、網走、小樽、阿寒等を案内していただきました。私はこの北海道で過ごした5日間の楽しい